



7月15日～9月2日 市報1000号を振り返る「あゆみ展」

13日 万一の浸水に備え「洪水ハザードマップ」

大雨で堤防が壊れた場合に、浸水する可能性のある範囲を地図に表示した「洪水ハザードマップ」を作成し、同時に浸水時の避難場所の見直しも行いました。また、一人で避難することが難しい高齢者や障害者などを、地域で支援していただくための「災害時要援護者支援計画」もあわせて策定しました。

15日～9月2日 市報1000号を振り返る「あゆみ展」

昭和29年に創刊し、7月15日号で1000号を迎えたことから、記念特集号を発行。また、興風図書館で1000号までの市報や昭和30年代の関根広報の実物などを展示した「野田市報1000号のあゆみ展」を開催しました。

11日 森内俊之永世名人来野

6月に誕生した森内永世名人が将棋雑誌の企画で「関根名人記念館」に来館。見学後は、関根名人と渡辺名誉九段の墓前で永世名人の就位を報告しました。

28日 90ヘクタールのビオトープ化を進める江川地区で稲刈り

ビオトープ(生物生息空間)化を進めている江川地区では、4月には、復田後、初となる田植えを行い、約3ヘクタールの田んぼから、8,370キログラムの米を収穫しました。

1日 小学生も参加し総合防災訓練

大地震に備え、今年も市では、文化センター駐車場を会場に、「総合防災訓練」を開催しました。初参加となった小学生や自主防災組織など19団体から1,024人が参加し、本番さながらに訓練を行いました。

7～9日 「植物学」に携わる850人が全国から野田へ

「日本植物学会第71回野田大会」が9月7日から9日まで東京理科大学野田キャンパスを会場に開催され、全国各地から約850人が集まりました。

29日 「キャリアデザインの拠点」として市民会館リニューアル

市民会館を一部改修し、「キャリアデザインの拠点」としてリニューアルオープン。「市民つどいの間」では、学芸員がアドバイスや相談を行うほか、全国の博物館の図録なども自由に閲覧できます。

30日 3年8か月で「まめバス」利用者100万人達成

平成16年1月から運行を開始したまめバスの利用者が、9月3日に100万人を達成したことを記念し、同30日に「100万人乗車記念式典」を開催しました。また、10月1日には、新北ルートと新南ルートを新設しました。

1日 「えだまめ体操」で介護予防

市のオリジナル介護予防体操「えだまめ体操」が完成。「えだまめサンバ」の軽快なリズムに合わせ、「まめの収穫」や「まめをつまむ」動作などを取り入れています。希望する団体にDVDを無料配布したほか、個人に貸し出しもしています。

25日 総合計画(後期計画)見直しの答申

合併後3年を経過したことや、野田市総合計画の前期基本計画が19年度で終了することから、総合計画審議会に基本構想や後期基本計画の見直しを諮問。審議会では、市民のご意見を十分審議・反映し、市に答申を行いました。

3日 11月の第一土曜日は「のだ教育の日」

教育は保護者や地域との連携が重要であることを再認識し、市では11月の第1土曜日を、市民全体で教育を考える「のだ教育の日」に制定しました。

8日 自慢の歌や踊りを披露「野田市老人クラブ芸能大会」

市内の老人クラブ22団体や個人が参加して、「第34回野田市老人クラブ芸能大会」が文化会館で開催されました。

9日 10周年を迎えた「民俗芸能のつどい」

地元の団体や小中学校のクラブなど12団体が参加し、「民俗芸能のつどい」を文化会館や同駐車場で開催。10周年を記念して、「つく舞」を35年ぶりに日中に披露しました。

20～25日 市内全域で一斉防犯パトロール

野田市防犯組合では、犯罪のない街を目指すため、16の支部単位で「年末一斉防犯パトロール」を実施し、約1800人が参加しました。

2007年 市政ハイライト

10月1日 完成の「えだまめ体操」で介護予防

10月25日 総合計画(後期計画)見直しの答申

12月9日 10周年を迎えた「民俗芸能のつどい」

